

ほんま進 vol.44

県議会だより

一般質問 特集号

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。
ほんま進 事務所
 〒260-0824千葉県千葉市中央区浜野町1408
 TEL.043-268-1100 FAX.043-263-9568
 URL http://www.s-honma.jp/ Email s-honma@mbr.nifty.com



12月定例県議会において、一般質問を行いました。今号はその内容を中心にご報告いたします。

12月定例県議会
新型コロナウイルス感染症対策などの補正予算案
飲酒運転根絶条例改正案などを可決



12月定例県議会が11月25日召集され、県提案の補正予算、各種条例案及びその

他附帯議案など44議案を可決しました。また、自民党が中心となり提案した飲酒運転根絶条例の改正案について、全会一致で可決し、12月20日閉会しました。会議冒頭、熊谷知事からは、新型コロナウイルス感染症対策について、本県の新規感染者数は、10月下旬から徐々に上昇しており、

引き続きワクチン接種の促進を図り、感染予防・重症化予防対策を講じるとともに、保健医療提供体制の強化を進めていくとの説明がありました。改正された飲酒運転根絶条例については、条例の実効性を高めるため、飲酒運転違反者に酒類を提供した飲食店へ条例遵守を求め、要請に従わない場合は5万円以下の過料を科す、通勤途中の飲酒運転には勤務先に違反内容を通ずるなどとしており、来年6月に施行されます。

東京湾沿岸海岸保全基本計画 令和6年度計画改定に向けた取組 高潮・津波等に対する防護の検討開始

12月定例県議会本会議場において、東京湾沿岸海岸保全基本計画について質問をしました。

【ほんま進】
 東京湾沿岸海岸保全基本計画の改定に向けた検討状況はどうか。

【県土整備部長より】
 県では、平成16年8月に、国が定めた海岸保全基本方針に基づき、海岸保全基本計画を策定し、高潮や津波等に対する防護水準を定め、護岸などの海岸保全施設

の整備を進めています。令和2年11月に国の基本方針が変更され、県の基本計画に、気候変動に伴う影響を適切に見込むように規定されたことから、本年8月に、県・市町・学識経験者等で構成する検討会を設立し、高潮や津波等に対する防護について、検討を開始したところです。

引き続き、検討会の意見を聞きながら、令和6年度の計画改定に向けて取り組んでまいります。

【ほんま進《要望》】
 計画改定に向けた検討会の資料や結果については、速やかにホームページなどで公表するなど、住民の皆様への情報提供に努めるよう要望する。

海岸保全基本計画の改定と並行し、県が作成した長寿命化計画に基づき、既存施設の適切な維持管理についてもしっかりと対応するよう要望する。

計画改定の検討会の資料や結果は速やかに公表し、住民の皆様への情報提供に努めるよう要望

今後の県政運営で、熊谷知事にエール！

私は、歴代の知事と共に県議会の一員として千葉県の発展に尽力。引き続き、熊谷知事とともに切磋琢磨し貢献していくことを約束！



12月定例県議会本会議場において、一般質問をするほんま県議

12月定例県議会本会議場において、熊谷知事に今後の県政運営について質問をしました。

【ほんま進】
 来年は、本県が明治6年に誕生してから150周年を迎える節目の年となります。先人達の御努力により、本県は目覚ましい発展を続けてきたところで、今後とも私たちは、充実した社会基盤や豊かな自然・文化等を生かして、更なる成長を目指していかねばなりません。

一方で、本県を取り巻く環境に目を向けると、20年前や30年前には予測しえなかった新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル化の急速な進展など様々な変化に直面しています。

また、2030年にはSDGsに掲げるゴールの達成、2050年にはカーボンニュートラルの実現など、

持続可能な社会への変革が求められており、まさに時代の大きな転換点を迎えているとも言っても過言ではありません。

こうした時代の急激な変化に対応していくためには、前例や固定観念にとらわれず、常に将来を展望しながら、眼の前の難局に対応していかねばならないと考えます。

さらには、課題解決の取組自体を、同時に付加価値を生み出す源泉としていく、ピンチをチャンスに変える逆転の発想も必要ではないでしょうか。

そこで伺います。知事として、どのような考えで今後の県政運営を進めるのか《熊谷知事より》
 急激な人口減少やデジタル化の急速な進展、災害の脅威など、本県を取り巻く様々な環境の変化に適切に対応していくためには、長期的な視点を持ちながら、柔軟で機動的な県政運営を行う必要があると考えています。

そうした考えのもと、あらゆる政策の土台として、まずは防災基盤の強靭化や

感染症対策など、県民の命とくらしを守るとともに、企業や団体等の様々な主体が地域の活性化に向けて、それぞれの持つ強みや能力を存分に発揮できるように、その環境づくりに県として主体的に取り組んでまいります。

その上で、更なる機能強化を図られる成田空港や、首都圏にありながら海と緑に恵まれた広やかな環境等を有する本県の特徴を最大限に生かして、県内に新しい投資を呼び込むなど、本県の更なる発展に向けて積極的に取り組んでまいります。

【ほんま進《要望》】
 県の将来を展望し、地域の声やポテンシャルを若い柔軟な発想で、今後の政策にしっかりと反映していただくたい。

若者達が希望をもって、新しい千葉県づくりの担い手として活躍できるように、人材の育成や地元定着の促進等に取り組む、本県の更なる成長・発展につなげていただきたい。

千葉県南部の村田川、浜野川に不法係留約30隻の解消へ！ 防災上、必要性が高いことからしっかりと取り組むよう要望！！

12月定例県議会本会議場において、村田川・浜野川の不法係留解消について質問をしました。

【ほんま進】
 不法係留船は、千葉県南部を流れる村田川と浜野川でも確認されている。これらのプレジャーボート等の不法係留の解消に向けた取組状況はどうか。

【県土整備部長より】
 県は、今年度、不法係留の実態を把握するための調査を実施し、村田川と浜野川で、約30隻の不法係留船を確認しました。このうち、住宅地に近く、近隣住民からも対策を求められた6隻については、船舶に警告書を張り付けて、自主撤去を促すとともに、所有者が判明できたものについては、直接訪問して指導したところです。

残る船舶についても、撤去指導を行うなど、不法係留の解消に取り組んでまいります。

【ほんま進《要望》】
 河川における不法係留対策について、船舶航行の安全や景観、さらには防災上も必要性が高いことであるので、引き続きしっかりと対応して頂くよう要望する。